

取組方針フォローアップ【小丸川・一ツ瀬川流域】

1. 災害に強い人づくりの推進

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数 / 延べ全項目数

H29 : 151 / 187

(2) 主な取組内容 H29

川を通じたコミュニティづくりの推進

漁協と連携した稚魚放流が行われている。

防災学習の推進

教育委員会と連携を取り、積極的に小中学校で防災学習が実施されている。宮崎市では、市民参加による危険箇所防災パトロールを実施した。

自主防災組織の結成と積極的活動

広報誌等を利用した啓発活動や消防団員の募集を行っている。災害発生に備え、資機材の備蓄確認、補充を行っている。

防災リーダー(地域防災士、水防団等)の育成

各機関において連携・フォローアップが行われている。

住民が利用しやすい洪水ハザードマップの作成

土砂災害ハザードマップの配布が行われている。一ツ瀬川水系について、水害防災マップづくりの基礎となる、想定しうる最大規模の降雨による浸水想定区域作成に着手した。

(3) 評価

全機関で、積極的に取り組みが進められている。

主な取組項目	目標時期	小丸川・一ツ瀬川流域等県管理区間									
		宮崎市	西都市	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	西米良村	宮崎県	宮崎気象
川を通じたコミュニティづくりの推進	継続実施										
防災学習の推進	継続実施										
自主防災組織の結成と積極的活動	継続実施										
防災リーダー(地域防災士、水防団等)の育成	継続実施										
住民が利用しやすい洪水ハザードマップの作成 ()	継続実施 【目標時期】 ・浸水想定区域図の作成・周知:平成31年度 ・洪水ハザードマップの作成・公表:平成32年度 ・土砂災害ハザードマップの作成・公表:平成33年度										

() 最大規模洪水を対象とする。

について
 ・漁協連携(稚魚放流) <西都市、西米良村、木城町、都農町> ・水辺のモニター <宮崎県> ・出前講座 <宮崎市>

について
 ・広報誌を活用した啓発活動 <西都市、西米良村、木城町、都農町> ・市民参加の合同パトロール <宮崎市> ・出前講座 <新富町、高鍋町、宮崎県> ・小学校防災学習 <高鍋町> ・津波避難訓練の実施 <新富町、都農町、宮崎県> ・小丸川クリーン作戦の実施 <木城町> ・地域防災コーディネータの配置 <宮崎市> ・防災士育成の費用補助 <宮崎市、西都市、新富町、高鍋町、木城町、都農町> ・学校での防災教室の開催 <西都市、西米良村、木城町、都農町、宮崎県>

について
 ・避難訓練の実施 <全市町村、宮崎県> ・地域ごとの防災倉庫の設置 <川南町> ・自主防災組織結成についての呼びかけを実施 <宮崎市、西都市、西米良村、新富町、高鍋町、木城町> ・資機材整備の補助 <宮崎県> ・広報誌、チラシ等を活用した消防団員の募集 <宮崎市、西米良村、新富町、木城町、都農町> ・資機材の備蓄確認及び補充 <全市町村、宮崎県> ・津波・洪水を想定した避難訓練を地区、要配慮者施設(救護施設)と実施 <新富町> ・組織後の補助金の活用等による活動促進を呼びかけ。 <西都市>

について
 ・防災士育成の費用補助 <宮崎市、西都市、新富町、高鍋町、木城町、都農町> ・防災士ネットワークとの連携 <宮崎市、西都市、西米良村、高鍋町、木城町> ・防災士研修講師の派遣 <宮崎県>

について
 ・土砂災害ハザードマップの配布 <宮崎市、西都市、高鍋町、木城町、川南町、都農町> ・ハザードマップを活用した避難訓練の実施 <宮崎市、木城町、川南町> ・ハザードマップを活用した住民啓発活動 <西米良村、新富町、高鍋町> ・一ツ瀬川水系について、水害防災マップづくりの基礎となる、想定しうる最大規模の降雨による浸水想定区域作成に着手。 <宮崎県>

2. 情報伝達のための環境づくりの推進

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数 / 延べ全項目数

H29 : 123 / 138

(2) 主な取組内容 H29

要配慮者を考慮した避難・誘導の取組の推進

自主防災組織を含む防災訓練の実施や福祉避難所の指定が行われている。

要配慮者名簿の整備を進めている。

宮崎市では、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成にかかる支援を実施した。

川南町では、消防団による介護施設での避難訓練を継続実施している。

避難勧告等の発令の基準化及び「避難準備情報」の活用

当協議会で作成したタイムライン、ホットラインを活用した。

迅速かつ確実な防災情報・避難情報伝達及び手段の多様化

広報誌等を活用し、防災情報入手方法を周知している。

防災ラジオや防災無線により情報伝達を行っている。

高鍋町では、SOSネットワークの加入促進を進めている。

学習会等による災害情報の共有

出前講座等の中で、災害の記憶を風化させないための啓発活動を行っている。

一ツ瀬川水系の関係市町村では、想定最大洪水ハザードマップの作成について検討を行っている。

(3) 評価

全機関で、積極的に取り組みが進められている。

主な取組項目	目標時期	宮崎市	西都市	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	西米良村	宮崎県	宮崎気象
要配慮者を考慮した避難・誘導の取組の推進	平成29年度から検討実施										
避難勧告等の発令の基準化及び「避難準備情報」の活用	継続実施										
迅速かつ確実な防災情報・避難情報伝達及び手段の多様化	継続実施										
学習会等による災害情報の共有()	継続実施										

() 最大規模洪水を対象とする。

について

・自主防災組織を含む防災訓練の実施、福祉避難所の指定<宮崎市、西都市、西米良村、新富町、高鍋町、木城町、都農町>・要配慮者名簿の整備<宮崎市、西都市、西米良村、新富町、高鍋町、木城町、都農町>・避難確保計画の支援<宮崎市>・要配慮者施設に関する関係部局との調整会議の開催<宮崎県>・消防団による介護施設での避難訓練を継続して実施<川南町>

について

タイムライン及びホットラインの活用<全市町村、宮崎県>

について

・広報誌等での周知<西都市、西米良村、新富町、高鍋町>・SOSネットワーク加入促進<高鍋町>・テレビ、ラジオ等の活用<宮崎市、西都市、木城町、川南町、宮崎県>・防災行政無線屋外子局のデジタル化更新を実施<都農町>

について

・想定最大洪水ハザードマップの作成検討<宮崎市、西都市、西米良村、新富町>・出前講座<宮崎市、西都市、西米良村、新富町、高鍋町、木城町、都農町、宮崎県>

3. 災害に強いまちづくりの推進

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数 / 延べ全項目数

H29 : 41 / 57

(2) 主な取組内容 H29

都市計画による開発抑制、土地利用規制、災害危険区域の指定等適切な土地利用への誘導

土砂災害警戒区域の指定を行った。

安全な避難路・復旧路の整備

宮崎県では、県内の主要路線を緊急輸送道路に指定している。

安全な避難場所の確保

高鍋町では、指定避難場所や津波避難ビルを点検し、継続指定を確認した。更に新たな避難場所を検討している。
木城町では、民間福祉施設を避難所として指定され、各避難所の点検を行っている。

高齢者等利用施設等における自主的な避難確保・浸水防止の取組の促進

宮崎市では、要配慮者利用施設からの相談に応じ、避難訓練を実施するとともに避難場所の情報提供など支援を実施した。

河川管理施設の効率的な運用の確保

各機関で、施設点検の実施及び体制確認した。

(3) 評価

全機関で、積極的に取り組みが進められている。

主な取組項目	目標時期	小丸川・一ツ瀬川流域等県管理区間										
		宮崎市	西都市	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	西米良村	宮崎県	宮崎気象	
都市計画による開発抑制、土地利用規制、災害危険区域の指定等適切な土地利用への誘導()	平成29年度から検討実施											
安全な避難路・復旧路の整備()	平成29年度から検討実施											
安全な避難場所の確保()	平成30年度から検討実施											
高齢者等利用施設等における自主的な避難確保・浸水防止の取組の促進	継続実施											
河川管理施設の効率的な運用の確保	継続実施											

() 最大規模洪水を対象とする。

について
・土砂災害警戒区域の指定 < 木城町 >

について
・県内の主要路線を緊急輸送道路に指定 < 宮崎県 >

について
・広域避難態勢を構築した < 宮崎市 > ・民間福祉施設を避難所として指定、各避難所点検 < 木城町 > ・指定避難場所、津波避難ビルを点検し継続指定を確認、新たな避難場所の検討 < 高鍋町 >

について
・要配慮者利用施設からの相談に応じ、避難訓練を実施するとともに避難場所の情報提供など支援を実施 < 宮崎市 > ・一ツ瀬川水系においてL2浸水想定区域図の見直しを実施。 < 宮崎県 >

について
・施設点検の実施及び体制確認 < 全市町村、宮崎県 >

4. 災害に強い防災拠点づくりの推進

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数 / 延べ全項目数

H29 : 22 / 32

(2) 主な取組内容 H29

浸水時にも活用できる水防倉庫、アクセス路の整備

宮崎市では、外水氾濫に備え、アクセス道路の確認を実施した。

大規模災害時における公共施設、災害拠点病院、ライフライン等の機能維持対策

一ツ瀬川水系の関係市町村においては、想定しうる最大規模の降雨による浸水想定区域図の見直しを受け、これらの見直しを検討している。西米良村では、防災拠点施設及び診療所周辺の水道管耐震化を完了し、さらに、防災拠点施設(役場庁舎)の新庁舎建設中である。都農町では、病院及び道の駅に繋がる水道管の耐震化を実施した。

5. 被害を最小にするハード整備

【取組状況】

(1) 延べ実施項目数 / 延べ全項目数

H29 : 8 / 10

(2) 主な取組内容 H29

洪水を安全に流すためのハード対策

宮崎県では、河川改修事業、土地利用一体型水防災事業等を実施している。

土砂災害から住民を守るためのハード対策

急傾斜事業等を実施している。

(3) 評価

全機関で、積極的に取り組みが進められている。

主な取組項目	目標時期	小丸川・一ツ瀬川流域等県管理区間									
		宮崎市	西都市	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	西米良村	宮崎県	宮崎気象
浸水時にも活用できる水防倉庫、アクセス路の整備()	平成32年度			/	/	/	/	/	/	/	/
大規模災害時における公共施設、災害拠点病院、ライフライン等の機能維持対策()	継続実施 平成32年度										/

最大規模洪水を対象とする。

について
・外水氾濫に備え、アクセス道路の確認を実施<宮崎市>・一ツ瀬川水系においてL2浸水想定区域図の見直しを実施。<宮崎県>

について
・防災拠点施設及び診療所周辺の水道管耐震化を完了。防災拠点施設(役場庁舎)の新庁舎建設中。<西米良村>・病院及び道の駅に繋がる水道管の耐震化を実施<都農町>

主な取組項目	目標時期	小丸川・一ツ瀬川流域等県管理区間									
		宮崎市	西都市	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	西米良村	宮崎県	宮崎気象
洪水を安全に流すためのハード対策	継続実施	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
土砂災害から住民を守るためのハード対策	継続実施										/

について
・河川改修事業、土地利用一体型水防災事業等を実施<宮崎県>

について
・河川改修事業、土地利用一体型水防災事業等を実施<宮崎県>・急傾斜事業等を実施<宮崎市、西都市、西米良村、高鍋町、木城町>・防災拠点となる新庁舎の建設を推進<西都市>